

「日本癌治療学会+KFCR 若手研究助成」応募要項

【趣旨】

近年、研究に必要な費用の高額化、新専門医制度、研究の多様化等を背景に、がん研究をめざす若手の研究者が減少傾向にあります。優れたアイデアを持ちながら、研究費を獲得できないことが原因で、研究の推進が困難な状況にある若手研究者も多いと考えられ、それらの若手研究者を支援するために、博士号取得後から5年以内の研究者を対象とした研究助成事業を、KFCR

(Kobayashi Foundation for Cancer Research, 小林がん学術振興会)と連携して実施します。がん薬物療法、がん治療に関する研究を行う、博士号を取得して間もない若手研究者助成を行うことにより、がんの治療法の成績向上及び進展に寄与し、さらに、次世代のリーダーの育成にも寄与することを目的とします。

【応募の概要】

当学会の研究助成は、がん薬物療法、がん治療分野の研究者個人を対象に、以下のように行ないます。

- 金額：
1件 100万円（合計 10件）
- 応募資格：
 - － 博士号取得後から5年以内（但し、博士号取得後に、相当な理由（出産育児を含む）により研究から離れざるをえなかった場合には、その期間を除くことができる。企業に籍をおく研究者は対象外）
 - － 一般社団法人日本癌治療学会の会員であること
- 研究対象：
がん薬物療法、がん治療に関する研究
- 応募期間：
2026年2月16日～2026年3月13日
- 応募締切：
2026年3月13日 午後5時（時間厳守）
- 選考方法：
日本癌治療学会・臨床研究委員会において選考、KFCR選考委員会で二次選考、KFCR理事会で決定
- 選考結果
2026年5月初旬、通知
- 研究助成金の交付時期
2026年7月末頃
- 研究助成金贈呈式
第64回一般社団法人日本癌治療学会学術集会 会場
2026年10月22日（予定）

(研究助成決定者は研究助成金贈呈式へのご出席をお願いします)

- 研究結果提出期限

2028 年 12 月 31 日

- 申請書提出先および問い合わせ先

一般社団法人日本癌治療学会事務局 (kushido@jsco.or.jp)

【研究助成金交付条件】

研究助成金の交付が決定した場合、次の条件が付されます。

- 申請書の内容のうち次の事項を変更しようとする時は、予め一般社団法人日本癌治療学会・臨床研究委員会・辻委員長承認を受けなければなりません。
 - 申請者の氏名
 - 所属機関または所属機関における地位
 - 研究の目的、内容および研究実施計画
- 研究を中止または廃止する時は、一般社団法人日本癌治療学会・臨床研究委員会・辻委員長の承認を受けなければなりません。
- 助成を受けた研究者の氏名、所属機関、研究課題、研究助成金贈呈式の写真及び研究結果を、KFCR のホームページ、会誌『展望』等に公表します。
- 助成金の使用期間は特に定めておりません。

研究結果および収支報告の提出

- 研究助成金の交付を受けた研究者は、2028 年 12 月 31 日までに研究結果報告書を提出して下さい。研究結果報告の遅れが予想される場合は、一般社団法人日本癌治療学会・臨床研究委員会・野村委員長に理由書を提出し承認を受けて下さい（理由書の書式は問いません）。
- 研究助成金の交付を受けた研究者は、2028 年 12 月 31 日（助成から 2 年程度）までに収支報告書（様式は自由）を一般社団法人日本癌治療学会・臨床研究委員会・野村委員長に提出して下さい。
- 研究助成金の交付を受けた研究の報告
 - 一般社団法人日本癌治療学会の学術集会で研究成果を発表する
 - 学術雑誌に投稿する場合、**impact factor** が 10 以下の雑誌が対象であれば、**International of Clinical Oncology** へ投稿することとし、「日本癌治療学会/KFCR*公募型若手研究助成」の助成による旨を書き添え、リプリントの PDF を一般社団法人日本癌治療学会・臨床研究委員会・辻委員長に提出して下さい。

その他

- 個人情報当法人の研究助成事業遂行の範囲内でのみ利用します。
- 論文不正が認定された場合は、不正の程度に応じて厳正に対処し助成金の返還請求、その後の応募をお断りする事があります。